



令和8年

7月16日(第12号)

学校長 村松 章史



私たちが町のためにできることは？

「学校・家庭・地域連携推進協議会」総会



この組織の活動は、下記のような様々な立場の方に参画していただき、「同じ願いの下に手を取り合い、中学生の健全な育成を目指す」ことを目的としています。歴史は長く今年度で34年目の活動となりました。この間、地域の人々が市川中学校のことを真剣に考えてくださり、生徒と地域の方々が手を取り合いながら、地域の美化活動や「ほうとう」づくり等の体験活動を重ねてきました。総会では「町の総合防災訓練」と「中学生が町のためにできることは何か」について意見交換しました。地域の方からは、「日常のあいさつも地域の人を知ることにつながる。近所の人をよりよく知ることで自助・共助につながる。」といった具体的な助言もいただきました。



令和8年度「学校・家庭・地域連携推進協議会」の総会を7月9日に開催しました。

「学家地連」に参加していただいている団体

社会教育委員 町民会議(育成会) スポーツ協会 民生児童委員・主任児童委員
シニアクラブ 保護司会 交通安全協会 公民館 女性団体連絡協議会
地域協力者 市川中PTA 市川中職員 市川中生徒会

私のお勧めの一冊

図書集会 ビブリオバトル

詳しくは
図書だより『本の扉』を

7月9日に図書委員会の主催で「ビブリオバトル大会」を行いました。「バトラー」(発表者)が読んで面白かった本を紹介し魅力を伝え、その発表を聞いた聴衆が「どの本が一番読みたくなったか？」を基準に投票しチャンプ本を決める「ビブリオバトル」。各学級を代表するバトラーが、発表の仕方を工夫しながらお勧め本を紹介しました。投票の結果2年生・切金心菜さんが紹介した『もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら』がチャンプ本となりました。また、集会の中では、ALT・シャーウィン先生によるフィリピンのお話『ゴーヤの伝説』の朗読も行われ、読書への興味関心を高めるとてもよい機会となりました。読書体験が減っていると言われる現代。「お気に入りの一冊」を見つけていくために、とてもよい時間になりました。



夏休みが間近となりました。夏休み中はスクリーンタイムの増加も心配です。この夏、スマホなどの使用時間をいつもより減らし、本で活字を追う時間を増やしてみませんか。家族で読書に親しむ時間を持てたら、幸せなことだと思います。